

地方独立行政法人北海道立総合研究機構(道総研)

研究職員採用試験募集要項

(令和5年度採用)

令和4年9月1日 札幌市北区北19条西11丁目
北海道立総合研究機構 電話 011-747-2813

- 受付期限 令和4年9月30日(金)
- 第1次試験日 令和4年10月6日(木)～16日(日) 適性検査(WEB)
令和4年10月16日(日) 専門試験
- 第2次試験日 令和4年11月19日(土)～20日(日) 予定
- 試験地 札幌市(第1次、第2次)、東京(第1次)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年(2010年)4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、この採用試験は、各研究分野において研究業務を行う職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。
(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な職務内容及び勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な職務内容	採用時の勤務予定箇所
農学	若干名	農業に関する調査研究	農業試験場、 花・野菜技術センター、 酪農試験場又は 畜産試験場
管理増殖	若干名	水産資源の管理、増養殖に関する調査研究	水産試験場
木質材料	若干名	木質材料に関する試験研究	林産試験場
工業	若干名	情報工学及びデザインに関する試験研究	工業試験場
エネルギー・環境	若干名	エネルギー技術に関する試験研究	エネルギー・環境・地質研究所
地質	若干名	地質環境に関する調査研究	エネルギー・環境・地質研究所
建築	若干名	建築・都市に関する調査研究	北方建築総合研究所又は 建築性能試験センター

※ 「採用時の勤務予定箇所」の所在地については、当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) に記載しています。

なお、「採用時の勤務予定箇所」について、ご不明な点がある場合は、北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ(電話 011-747-2813)にお問い合わせください。

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

2 試験日程、試験地等

試験	試験科目	試験日	試験地等	試験会場等
第1次試験	適性検査 (WEB)	10月6日(木)～ 16日(日)	WEB	受検方法等詳細については、募集締切後にメールでお知らせします。
	専門試験	10月16日(日)	札幌市 東京都	受験票でお知らせします。
第2次試験	個別面接 (対面)	11月19日(土)～ 20日(日) 予定	札幌市	第1次試験合格者にメールでお知らせします。

3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材(専門分野等)	受験資格
農学	次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①作物学、園芸学及び作物育種学 ②土壌学及び作物栄養学	昭和38年4月2日以降に生まれた者
管理増殖	次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①水産資源管理、②水産増養殖	
木質材料	木質科学に関する専門知識を有する者	
工業	次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①計測情報処理及び画像処理・認識技術 ②工業デザイン及び情報デザイン	
エネルギー・環境	エネルギー工学及びエネルギーシステムに関する専門知識を有する者	
地質	環境地質学、地球化学及び地質汚染に関する専門知識を有する者	
建築	次の①から③のいずれかに関する専門知識を有する者 ①建築工学、②建築環境工学、③都市工学	

※ 丸数字の分野は、いずれかの専門分野を選択できます。

なお、次に該当する方は、受験できません。

ア 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

イ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

ウ 日本国憲法施行の日(昭和22年5月3日)以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない方は採用されません。

4 試験方法、内容

試験	試験種目	解答時間	内 容
第1次試験	適性検査 (WEB)	65分	当機構研究職員として必要な基礎能力やパーソナリティの適性検査
	専門試験 (記述式)	180分	各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験 (<u>大学、高専卒業程度の知識を問います。</u>)
第2次試験	人物試験	第1次試験合格者に対して、個別面接を行います。	

※ 専門試験に出題する専門分野は、3 求める人材、受験資格に記載のある分野です。

5 合格者の決定方法

- (1) 第1次試験合格者 適性検査及び専門試験の結果により決定します。
 (2) 最終合格者 第2次試験の結果により決定します。

6 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構のホームページ上にも掲示します。

なお、合格者には、別途メールを送信するほか、最終合格者には、合格通知書を郵送します。

受験番号等を確認出来ない場合は、北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ（電話 011-747-2813）にお問い合わせください。

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

○ 合格発表日

ア 第1次試験合格発表 10月31日（月）予定

イ 最終合格発表 12月9日（金）予定

※合格発表は、合格発表日の午前10時を予定しています。

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、マイナンバーカード、学生証等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しください。（土・日曜日及び祝日は受付いたしません。）

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
第1次試験 不 合 格 者	第1次試験合格発表日 から1か月間	第1次試験の個別得 点及びその成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 本部経営管理部人事グループ
第1次試験 合 格 者	最終合格発表日から1 か月間	上記の開示内容及び 第2次試験の得点並 びに総合順位	

8 採用時期

採用時期は、原則として令和5年4月1日です。（ただし、既に学校を卒業されている方等は、令和4年度中に採用される場合もあります。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難とされた場合は採用されません。

9 給 与 (次の額は、令和4年4月1日現在における新卒者の場合の例です。)

区 分	初 任 給	諸 手 当
(例1) 研究職員(博士課程修了)	272,000 円	期末手当・勤勉手当(賞与)、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。
(例2) 研究職員(修士課程修了)	223,500 円	
(例3) 研究職員(大学卒相当)	195,600 円	

- ※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定します。
なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。
- ※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 申込方法

次の書類を令和4年9月30日(金)までに北海道立総合研究機構本部(道総研職員採用担当)あてにメールで提出してください。(募集締切日の23時59分まで受付)

申込書(指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に手書するか、又はパソコンで作成し、指定の場所に写真を貼付してください。)

※ PDF形式で提出ください。

ファイル名は「氏名_申込書」としてください。

【提出先】道総研職員採用担当 dosoken-saiyo2@hro.or.jp
北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ
〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目

10月5日(水)に受験票をメールで送信予定です。届かないときは、北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ(電話011-747-2813)に必ずお問い合わせください。

- ※ 第1次試験(専門試験)受験の際は、メールで届いた受験票を縦15cm×横10cmの範囲内で印刷し、所定の欄に6か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦4cm×横3cmの写真を貼り、持参ください。

11 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- (4) 申込後に、本試験を受験しない場合はその旨ご連絡ください。